

平成 30 年度 第 5 回静岡市市民活動促進協議会（第 6 期） 会議録

- 1 開催日時 平成 30 年 11 月 2 日（金） 9 時 30 分～11 時 30 分
- 2 開催場所 葵消防署 7 階 71 会議室
- 3 出席者 <出席委員>金川委員長、山本副会長、池田委員、伊藤委員、片井委員、北川委員、栗田委員、後藤委員、近藤委員、中村委員、弓削委員、吉田委員  
<オブザーバー>五味番町市民活動センター長  
磯谷清水市民活動センター長  
<事務局>豊後市民局長、深澤市民局次長  
小畑市民自治推進課長、佐々木係長、長島主査
- 4 傍聴者 0 人
- 5 議題 (1) 市民活動促進基本計画の成果指標・主な事業の見直し案について
- 6 主な協議内容

<金川会長>

この協議会のテーマはご存知の通り、去年第一回の会議で示されたとおり市民活動促進計画の見直しということになります。前回非常に活発な議論がなされたということで、私も議事録を拝見させていただきましたが非常に活発な議論が行われたと認識しています。

では、前回の議論を含めた第 3 次市民活動促進基本計画の中間見直し案について事務局よりご説明をお願いいたします。

**【事務局説明】**

<金川会長>

前回、かなり議論となったものとして、自治会活動をどう考えるかということがあります。

今の事務局のお話を私なりにまとめさせていただくと、第 3 次市民活動促進基本計画の中間見直しということで、これを根本的に修正するのは基本的にはできないと考えています。根本的な話から言うと、市民活動とは何かという話になってきますが、市民活動の定義も計画に書かれており、自治会活動なども含むという定義をしています。いろいろな議論の結果このようになったと思いますので、次期計画に向けて、次回以降の協議会で検討していくべきだと思います。

<北川委員>

今回の見直し案として出されている<知らせる>交流の場づくりの項目の中の②市民活動に参加したいと思う人の割合、これが30から25に変更がなされている。この変更理由は参加したことがある人が増えることによって参加したいと思う人が減るからこういう目標数値になるということだと思います。

この数字の内容はよく理解できますが、目標数値が下がるということに対して数字を見たときに違和感があります。実際に行動して参加する人が増えたことで参加したいと思う人が減るということはわかりますが、参加したいと思う人の割合を定点観測で確認するのは一定の役割は終わったと思います。

次は、参加したことのある人に対して、今後どういう知らせるをどう広めていくかということを示しているようにも思えます。次のステージに向かった指標を定めるべきなのかなというように感じました。

<金川会長>

前回かなり議論されました市民活動の参加の質みたいな話に関係してくるかなと思います。冒頭に申しあげましたが、自治会活動なんかを考えてみたら多くの人が市民活動に参加しているのではないかなということですね。これは2の1が増えていくと、すでに参加しているわけですから、したいと思う人は参加してないけどしたいって思っているの、これが減っていくというロジックをたてているという事でございますので、今、北川委員がおっしゃったことはもちろん議事録に残したいと思いますし、今回の議論につきましてはこの案をベースに取りまとめますが、前回、次のことを考えなければならないという意見がずいぶん出ていましたので、答申は答申として、それに加えて付帯決議のような形で残していきたいと考えています。そういうものも含めて議論していただいて結構です。

<北川委員>

誤解を与えかねないと言う意味で言うならば、参加したことがある人+参加したいと思う人の合計も記載する書き方も1つの案としてあるとは思いますが。

<金川会長>

そういう書き方もありますね。

<事務局>

次回の協議会までに検討してご報告させていただきます。

<池田委員>

参加したことがある人という回答だと、例えば5年前、10年前でも1回参加したことが

あれば参加したことがあるになってしまうので、質をとということであれば例えば5年以内に活動した方はどれくらいなのかという事も考えた方が質の面ではいいのかなって思います。

<金川会長>

何十年も前に参加を一回した人もここにカウントされるということであればちょっと違和感がある数字になりますね。この辺も質の問題に関わってきますと思います。中間見直しで変えることは難しいかもしれませんが、次期計画策定に向けて検討してもいいと思います。

<中村委員>

ここからネットの総アクセス数をモニタリングすることに関しては、そもそものところでユーザー数の伸び悩みの部分であまりにもユーザー数が少ない状態から多少アクセス数が増えただけでは本当にモニタリングする価値のあるものかどうかという疑問が残るところもあります。

<事務局>

第3次静岡市市民活動促進基本計画 22 ページにある通り、モニタリング指標は市民活動促進計画を多角的に確認するための参考として設定するものです。4年後の次期計画策定時に実際に使える指標になっていくのかを含めて、試しにモニタリング指標として見ていきたいということで、今回提案の中に入れさせていただきました。

<山本委員>

自分では勝手にここからネットは両センターに並ぶような、違うターゲットに向けた窓口だと思っています。ゆくゆくは成果の目標を付した上で、成果指標にいった方がよいかと思っています。モニタリング指標だと目標がないのですが、その前段階だと考えています。

市民意識調査結果をみると、参加した市民活動の種類としては、自治会・町内会活動が約80%と非常に多い。NPO・ボランティア団体主催の活動は約30%なのです。この部分を、ここからネットを使う人が、どれだけ伸ばしていくかだと思います。

<金川会長>

ここからネットは始まったところで、まだまだ改善、育てていかなければいけないところかなと思っているので、今現在の状況でそのままいくという事でもないとは思いますが。総アクセス数も成果指標ではなくモニタリング指標ということなので、協議会としては期待を込めてこれをモニタリング指標にするかどうかということになると思います。

<山本委員>

市民活動センターもホームページをお持ちだと思いますが、アクセス数など規模感がわかる数値は出てきますでしょうか。

<番町市民活動センター長>

ホームページの統計はとっていますが、手元にありません。Facebook ページであれば、ひとつの投稿につき 800 人以上見てくれています。多いときは 1,500 人とかあります。

<清水市民活動センター長>

清水も同じぐらいです。Facebook は記事によって数が全然違います。周年祭とか大きい講座とかを見てくださる方とそうでない方と、記事でずいぶん違うなと思います。

<事務局>

ホームページと SNS は切り分けが必要だと思いますが、清水センターのホームページのアクセス件数は、以前お聞きしたところだと大体月間 3,000 位と聞きました。

<山本委員>

少なくとも各センター 1 日あたり 100 件以上のアクセスがあるということであれば、ここからネットはそれを超える必要がありますね。

<事務局>

そこは超えています。総アクセス件数は、月間で 1 万件以上です。

<近藤委員>

成果指標として、市と市民活動団体との協働事業数で数字を取っていただいたのですが、前回の話し合いを受けて、モニタリング指標として市民活動団体と市以外と協働事業数を見直し案としてご提示いただいたので大変嬉しく思います。モニタリングは具体的にはどのようにするかをお聞きしたいと思います。

<事務局>

毎年度、当課から市民活動センターの利用登録団体を対象としてアンケート調査実施しています。今までは、寄附金収入等の調査を行ってきましたが、見直し案のとおり、モニタリング指標から外すということであれば、質問項目が 1 つ空きますので、その代わりに市以外との協働の有無についての質問し、モニタリング数値を取るということを考えています。

<金川会長>

これで本日の議論は終了という事にさせていただきたいと思います。今日のご意見を踏まえまして、答申案の作成を進めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。